

地域再生とまちづくり

各都市が目指すものは

〈第10回〉

で閉鎖され、廃屋として放置
される状態が続いており、2
004年には山上へのアクセ
ス手段として重要な役割を担
っていた屋島登山ケーブルが
休止、05年には廃止された。
しかし、最近では日本書紀
に記されている古代山城のひ
とつである「屋嶋城跡」が98
年に南嶺山上の石墨の発見を
契機に城門跡が発掘され、今
までは幻の城であったものが
山上の城(07年度から高松市
が進めてきた屋嶋城跡城門遺
構整備事業が完了し、16年3
月19日より公開)の存在が明
確になった。併せて景観阻害
別の課題として①廃屋撤去後
になる廃屋の撤去が進み、屋
島再生につながる兆しが見え
始め、「屋島」全体の活性化
が期待されるようになった。

13年に基本構想

こうした状況の中、高松市
では13年1月、屋島の持続性
のある活性化に向け「屋島活
性化基本構想」を策定。総合
的課題として①屋島全体の自
然環境、景観および文化財の
調査・把握・活用、②市民の
屋島に対する価値の認識と愛
着の醸成、③屋島の持つ魅力
の顕在化と屋島の活性化。個
別の課題として①廃屋撤去後

国内初の国立公園

屋島地区は高松市の東部に
位置し、1934年に国内で
最初の国立公園として瀬戸内
海国立公園並びに国の史跡及
び天然記念物に指定された。
山上からの眺望に優れ、また
る施設としては四国霊場八十
八カ所・第84番札所の屋島寺、
新屋島水族館、源平合戦の古
戦場などがあり、「栗林公
園」とともに高松市を代表
する観光スポットになって

香川県高松市・観光地屋島地区の活性化

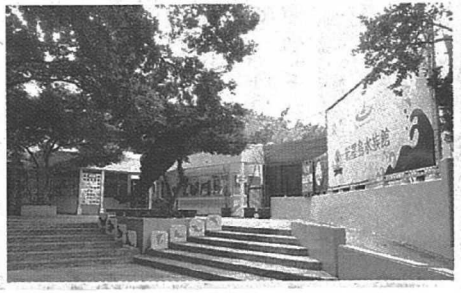
「H.8 way」という作品を展
示している。
また、最近取り組んでいる
事業としては屋島山上交通ア
クセス向上対策がある。屋島
ドライブウェイの通行無料化
に向けて、実際に無料化した
場合の影響を調査するため、
今年9月20日から12月20日ま
でを調査期間とし、屋島ドラ
イブウェイ無料化社会実験を
行う。通行料を無料、山上駐
車場料金を普通乗用車等30
0円、二輪車200円、バス
1000円とするものだ。17
年3月に結果を公表する。
およそ1500年前の山
城、源平合戦の舞台と古代か
ら中世の歴史が残る屋島。今
後の高松市や瀬戸内海におけ
る貴重な遺構として、再び注
目を浴びたい。
日本不動産研究所高松支
所、不動産鑑定士・富永和志)



④四国霊場八十八カ所・第84番札所の屋島寺 ⑤古代山城の屋嶋城跡

歴史と自然を資源に アクセス向上へ社会実験も

の更地の利活用、②水族
館の老朽化、③ドライブ
ウェイを含む屋島山上へ
のアクセス、④ケーブル
跡施設の取り扱い―を
挙げ、長期的な観点から
関係機関と協議し適切に
対応していくとした。
具体的施策・事業とし
ては44項目を挙げ、短期
(3年未満)、中期(3
年以上6年未満)、長期
(6年以上)に分け、13
年度を始期とした推進計
画を作成した。短期事業
では、瀬戸内国際芸術祭
との連携として、無限を
表現した山上の展望台に



新屋島水族館の入り口付近